

KINKI
UNIVERSITY
CENTER
FOR
CLINICAL
PSYCHOLOGY

近畿大学
臨床心理センター 紀要

第 4 卷

2011

287

**Bulletin of Center for Clinical Psychology
Kinki University
Vol. 4
CONTENTS**

Foreword

HITOMI, Kazuhiko

Articles

KURODA, Kenji
Sleep Disorder

Jahyeon Cho; Ji Hyun Lee
Considering Eating Behaviors at Night - Sleep Related Eating Disorder

OKUNO, Yoko
Positive changing among human services professionals - Sense of personal growth of nurses

HITOMI, Yoshie
Considering about Near Death Experience from Analytical Psychology

TOCHIHARA, Kyoko
Parent Counseling in Kindergarden

HITOMI, Kazuhiko
Pathography of Santoka - Psychopathology of his latest life and death

AONO, Akiko
Parent Counseling for Mother of Young Adult Son with Social Withdrawal

YAMAGUCHI, Naoko
A Woman Who Overcame Her Handicaps and Has Found Her Own Life: Case Study

TSUCHIYA, Mayako
School as "Container" for fostering Children

HITOMI, Kazuhiko
Ambivalence

TAKAHASHI, Daisuke
My Experience in National Hansen's Disease Sanatorium

WAKE, Kozo
Community Enlightening of Alcoholism Rehabilitation Hospital

KOTANI, Noriko; IWATA, Mitsuhiro; MORIKAWA, Masayuki
Annual Report of "Telephone Counseling" in Sakai City (2010)

KONISHI, Naotaka
Activity Report of Social Working in Kinki University Hospital

Annual Report

OKUNO, Yoko
Records of Center for Clinical Psychology, Kinki University from April 2010 to March 2011

編集後記

近畿大学臨床心理センターが開設されてから5年目に入り、「近畿大学臨床心理センター紀要」第4巻が発行される運びとなりました。ご多忙の中、幅広い専門分野で活躍されている先生方に論文を執筆していただき、充実した内容となりました。さまざまな形で本紀要の発刊にご協力いただきました関係者の皆様に、お礼申し上げます。

本号を読んでくださった方々からの率直なご意見やご感想をお待ちしております。今後もよろしくお願いたします。

近畿大学 臨床心理センター 紀要

第4巻

平成23年10月30日 発行

発行者 近畿大学臨床心理センター
☎589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377-2
印刷所 近畿大学管理部 用度課(出版印刷)

Center for Clinical Psychology Kinki University
377-2 Ohno-higashi, Osakasayama, Osaka 589-8511, Japan

臨床心理センター紀要 第4巻 目次

● 巻頭言	
「研修講座について」臨床心理センター長 人見一彦	1
● 睡眠障害	
「睡眠障害について」黒田健治	3
「Considering Eating Behaviors at Night - Sleep Related Eating Disorder」 Jahyeon Cho & Ji Hyun Lee	11
● 調査・研究	
「対人援助職におけるポジティブな変化について—看護師の自己成長感の特徴について—」 奥野洋子	19
「分析心理学的見地からみた臨死体験」人見佳枝	31
「キンダーカウンセリングにおける保護者面接についての一考察 —母親の個別相談の実態から支援の在り方を考える—」 柊原京子	45
「山頭火の病蹟—『ころり往生』に至る精神病理—」人見一彦	59
● 事例研究	
「ひきこもり青年の母親の心理面接 —関わりの助言を中心とした面接でひきこもりを脱した一事例—」 青野明子	83
「身体障害の乗り越えと自立への道を探求した女性の一事例」 山口直子	103
● 研修講座	
「教育現場が人を育てる『器』となるために」 土屋麻矢子	115
● 精神医学基礎講座	
「両価性」人見一彦	133
● 経験	
「ハンセン病療養所における経験について」 高橋大輔	137
● 紹介	
「アルコール依存症専門病院の地域啓発活動」 和気浩三	143
「平成22年度堺市『こころの電話相談』の活動報告」 小谷典子・岩田光宏・森川将行	149
● 附属病院報告	
「近畿大学医学部附属病院・福祉相談（ソーシャルワーク）部門の報告 —『医療・福祉相談室』は平成23年4月から『患者支援センター』に改編—」 小西直毅	159
● 活動報告	
近畿大学臨床心理センター平成22年度活動報告	165
近畿大学臨床心理センター規程	176
スタッフ一覧	177

臨床心理センター紀要 創刊号 目次

●巻頭言

「巻頭言」学長 畑 博行

「『臨床心理センター紀要』創刊によせて」センター長 人見一彦

●心理療法の領域

「統合失調症における心理療法の意義」人見一彦

「当世うつ病臨床事情」白川 治

「心療内科における心理療法」小山敦子

「アルコール依存症－分析心理学的観点から」人見佳枝

「包括的緩和医療における『心』の問題」東 睦広

「認知行動療法のあり方についての一考」大賀征夫

「スポーツカウンセリング－スポーツ選手へのメンタルサポート」直井愛里

●対人援助者のこころの健康

「『援助すること』と『援助されること』－対人援助関係の二重性」奥野洋子

「就職後3ヶ月の時点における新任保育者の職場適応」水野智美・徳田克己

●心理療法の実践

「精神科外来における心理療法の一事例

－統合失調症と診断された思春期女子との心理面接過程」青野明子

「ある場面緘黙の少女との遊戯療法－彩り豊かな作品を通じて」山口直子

「面接者－来談者関係の二重性とその乗り越え」奥野洋子

●デイケアの就労支援・生活援助

「思春期・青年期を対象としたデイケアでのかかわり」藤淵有史

「精神保健福祉士による一慢性統合失調症者への生活援助」

西田ゆかり・山本由紀子・樋口尚美

●精神医学基礎講座

「精神症状への基本的アプローチ」人見一彦

●特別寄稿

「北タイに暮らす2家族のHIV陽性者と一緒に過ごした3年間の日々から生まれたひとつの物語『昨日 今日 そして明日へ・・・』の背景」直井里予

●活動報告

近畿大学臨床心理センター平成19年度活動報告

近畿大学臨床心理センター規定

スタッフ一覧

臨床心理センター紀要 第2巻 目次

●巻頭言

「心理療法の領域の新しい展開」臨床心理センター長 人見一彦

●特別寄稿

「少年非行における発達障害」藤川洋子

●心理療法の新しい領域

「遺伝カウンセリング—家族性腫瘍診療の視点から」田村和朗

●心理療法の展開

「日本の心理療法—内観法の誕生と国際化」榛木美恵子

「スポーツ傷害における心理学」直井愛里

●心理療法の実践

「『うつ病』者の復職段階について」越智裕輝

「アスペルガー症候群Tくんから学んだこと—そのひたむきな姿勢に支えられて」山口直子

「身体化障害の心理—性愛の精神病理」人見一彦

●調査・研究

「青年期における悩み体験に関する研究

—ストレス反応、解離性体験および自傷行為との関連」青野明子

「対人援助職のメンタルヘルスの問題を相談事例から考える」奥野洋子

「分析心理学におけるアルコール依存症

—断酒会初代会長 松村春繁における individuation process」人見佳枝

●緩和ケアの実践

「がん性疼痛の薬物療法」原 聡

「当院の緩和ケアチーム活動の1例」高橋絵里子

●精神医学基礎講座

「対象関係と自我の統合力」人見一彦

●相談室報告

「近畿大学医学部学生相談室 平成19年度・20年度 活動報告」原田智子・白川 治

●紹介

「さくらクリニック平成20年度の活動報告」齊藤千恵子・東奈緒子

●活動報告

近畿大学臨床心理センター平成20年度活動報告

近畿大学臨床心理センター規程

スタッフ一覧

臨床心理センター紀要 第3巻 目次

●巻頭言

「社会と人と自然を見つめるチカラを磨く～総合社会学部のチャレンジ～」
近畿大学総合社会学部長 荒巻 裕

●統合失調症関連

「子どもの統合失調症—広汎性発達障害との関連性—」 飯田順三・城島哲子
「統合失調症の内観療法—自験例を中心に—」 真栄城輝明
「統合失調症、スプリッティング、解離」 人見一彦

●調査・研究

「がん患者と配偶者間の双方向的サポートに関する探索的検討：
配偶者の支えとなった患者との関係性」 塩崎麻里子
「腹部刺創による自殺企図患者の心理—日本人の死の意識についての一考察—」 人見佳枝
「大学生を対象としたコミュニケーションスキルトレーニング
—カウンセリング技法教育による対人関係能力向上への取り組み—」 青野明子

●心理療法の展開

「医療の中の癒し—安らぎへのプロセス—」 千石真理
「『なぜ自分で自分を切つてはいけないの?』という問いに対して
—クールな援助者（サポーター）という考え方—」 孫 漢洛
「自死遺族への心理的ケアの困難さについて」 奥野洋子
「不登校支援への視点」 山口直子

●スポーツ心理学

「スポーツと多文化心理学」 直井愛里

●精神医学基礎講座

「自我意識の病理をとらえる」 人見一彦

●紹介

「当院の音楽療法について」 山口陽雄・山口健也・西尾多賀子・森本恵美子
「医療法人サザカム会三国丘こころのクリニックの活動報告
—平成19年10月1日から平成22年3月31日まで—」
奥野正景・岡田恵里・平沼典子・千頭孝史

●附属病院報告

「認知症の心理検査の実際—近畿大学医学部附属病院メンタルヘルス科における現状—」
佐藤 篤・衣川修平・東 理恵・白川 治
「平成21年度 緩和ケア室活動の報告—緩和ケア室における看護師の活動を中心に—」
小山富美子
「小児病棟での保育士の役割と活動の実際について」 京極 恵・千田晶子

近畿大学臨床心理センター規程

(設 置)

第1条 本大学に、近畿大学臨床心理センター（以下「センター」という）を置く。

(目 的)

第2条 このセンターは、臨床心理に関する教育・研究及び臨床活動を行い、地域社会に対する臨床心理的な相談活動と専門家の養成に寄与することを目的とする。

(事 業)

第3条 このセンターは、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 臨床心理に関する教育・研究
- (2) 地域社会に対する心理的な相談活動
- (3) 研究会、講演会の開催
- (4) 研究調査、研修生の受託
- (5) その他目的達成に必要な事項

(職 員)

第4条 このセンターに、次の職員を置く。

- (1) センター長
 - (2) 研究員
 - (3) 事務職員
- 2 必要がある時は、前項以外の職員を置くことができる。
- 3 職員は専任のほか、本学所属の教職員を兼任させ、又は本学以外のものを嘱託として委嘱することができる。

(センター長)

第5条 センター長は、このセンターを代表し、センター業務を総括する。

- 2 センター長は理事長が任命する。任期は2年とし、再任を妨げない。

(運営委員会)

第6条 このセンターに運営委員会を置く。

- 2 運営委員会は、センターの運営、その他重要事項について協議する。
- 3 運営委員会は、センター長が必要と認めた者を持って構成する。
- 4 運営委員会は、センター長が招集し、議長となる。

(会 計)

第7条 センターの会計処理に関する事項は、別に定める。

附 則

この規定は、平成18年11月1日から施行する。

平成22年度 近畿大学臨床心理センター スタッフ一覧

センター長	人見 一彦・教授（精神科医）
研究員(相談員)	直井 愛里・准教授・兼務（国際応用スポーツ心理学会認定コンサルタント・近畿大学総合社会学部）
	奥野 洋子・講師・兼務（臨床心理士・近畿大学総合社会学部）
	榛木恵美子・非常勤講師（臨床心理士）
	青野 明子・非常勤講師（臨床心理士・大阪国際大学人間科学部准教授）
	山口 直子・非常勤講師（臨床心理士・箕面市教育センター相談員）
	水野恵理子・非常勤講師（音楽療法士）
	土屋麻矢子・非常勤助手（臨床心理士）
	朽原 京子・非常勤助手（臨床心理士）
事務職員	1人

●海外便り

「ISAP だより」人見佳枝

●活動報告

近畿大学臨床心理センター平成 21 年度活動報告

近畿大学臨床心理センター規程

スタッフ一覧

KINKI
UNIVERSITY
CENTER
FOR
CLINICAL
PSYCHOLOGY

近畿大学
臨床心理センター 紀要